

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	4152	(H.26)No.	4152
-----------	------	-----------	------

事務事業名	農山漁村活性化事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	日置 光昭	

会計区分	事業コード	306601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	農山漁村活性化事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業総務費	農山漁村活性化事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	4	農村ふれあい交流空間の整備
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
地域住民の定住、都市住民の定住及び滞在による地域間交流を促すこととなり、農山漁村地域の総合的な活性化につながる。
事業内容
農山漁村活性化事業を活用し、農業集落道、農林漁業休暇施設、景観・生態系保全整備等の総合的な農村環境整備を行う。 事業主体:名張市 事業費:総額 89,000千円 負担割合 国 50%・市 50% 事業内容:農道整備・ふれあい広場整備 ふれあい農園整備他

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画) H.29年度(事業計画) H.30年度(事業計画)		
	<H.25繰越分> ・ふれあい広場整備 9,937千円 <H.26現年分> ・ふれあい広場整備・農道整備他 11,154千円 <H.27年度への繰越明許費 12,376千円(国支出金6,170、市債6,200、一財6)>	委託料:2,380千円 工事費:14,010千円 公有財産購入費:7,020千円 事務費:475千円	事業費:28,580千円	平成28年度 事業完了予定	

	H.26年度(決算見込)		H.27年度(作成時予算額)		H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	(9,937千円)	11,154千円	23,885千円		28,580千円		
内訳(千円)							
国・県支出金	(4,950)	5,570	11,500		14,290		
地方債	(4,900千円)	5,500	12,300		14,200		
その他()							
一般財源	(87)	84	85		90	0	0
人工数							
職員	(0.20人)	0.14人	0.20人		0.20人		
臨時職員等	(0.01人)	0.01人	0.01人		0.01人		
②概算人件費	(1,517千円)	1,067千円	1,517千円		1,517千円	0千円	0千円
①+②総事業費	(11,454千円)	12,221千円	25,402千円		30,097千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
地元協議を経て、平成25年度より事業を実施した。事業推進にあたって、地元との緊密な連携が必要。	今後も地域づくり団体等の地元関係団体等と連携・協議しつつ、事業推進を図っていく。本年度は平成27年5月に整備が完了する多目的広場において、地元、レク協会の協力を得て広場の芝生化整備を計画している。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	農村ふれあい交流空間整備に向けて、事業推進を図る。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	地域づくり組織など、地元関係団体等と連携し、事業推進を図っていく。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
平成25年度より整備事業に着手し、事業計画に基づき平成28年度の事業完了に向けて事業推進を図っていく。	